

これだけは覚えよう！

慣用句かるた

【準備】

- ・厚紙に印刷します。
- ・線に沿って紙を切り、「上のことば」「下のことば」「意味」のカードを作ります。
- ・小さいカードが慣用句の「上のことば」、大きいカードが「下のことば」にあたります。

【使用例1】「仲間探し」

使うもの：「上のことばカード」「下のことばカード」「意味カード」

- ①「頭」「足」「手」など、同じ語を使用する慣用句だけを選んで用意します。
- ②「上のことばカード」と「下のことばカード」を違うエリアに広げます。「意味カード」を山にして、裏返しにしておきます。
- ③順番を決めます。
- ④1人が「意味カード」をめくり、その意味にあてはまる組合せを作ります。正しい組合せを見つけられたら、その組合せのカードを貰い、次の人にかかります。
- ⑤分からない時や間違えた時は「上のことばカード」を次の人に渡し、交代します。
- ⑥たくさんカードをとった人の勝ち。

【使用例2】「慣用句マッチング」

使うもの：「上のことばカード」「下のことばカード」

- ①順番を決めます。
- ②「上のことばカード」は1つにまとめて山にし、裏返ししておきます。「下のことばカード」を場に広げます。
- ③1人が「上のことばカード」を1枚めくり、それに続く「下のことばカード」を探します。正しい組合せを見つけられたら、その組合せのカードを貰い、次の人にかかります。
- ④分からない時や間違えた時は「上のことばカード」を次の人に渡し、交代します。
- ⑤たくさんカードをとった人の勝ち。

これだけは覚えよう！

慣用句かるた

【使用例3】「慣用句マッチングバトル」

使うもの:「上のことばカード」「下のことばカード」

- ①順番を決めます。
- ②「上のことばカード」は1つにまとめて山にし、裏返しておきます。「下のことばカード」を場に広げます。
- ③1人が「上のことばカード」を1枚めくります。それと同時に、全員がそれに続く「下のことばカード」を探します。正しい組合せを見つけられたら、すかさずそのカードを取ります。正解の場合、その組合せのカードを貰います。
- ④次の人が次の「上のことばカード」をめくり、③と同じことをします。
- ⑤たくさんカードをとった人の勝ち。
- ⑥お手つきをしたら1回休み。お手つきをした人がめくる番の場合、めくりませんが、取る事はできません。

【使用例4】「続くことばを探せ！」

使うもの:「意味カード」「下のことばカード」

- ①読み手と取り手を決めます。
- ②「下のことばカード」を表向けに場に広げます。
- ③読み手は、「意味カード」を見て意味をゆっくり読み上げます。その後、2～5秒ほど間をあけて、「上のことば」を読みます(読み手にヒントを与えるため)。
- ④取り手は、「下のことば」を考え、分かったらできるだけ早く取ります。
- ⑤たくさんカードをとった人の勝ち。

【使用例5】「慣用句ババ抜き」

使うもの:「上のことばカード」「下のことばカード」

- ①“人数×10組”程度の慣用句カード(「上のことばカード」「下のことばカード」)を用意します。
- ②「上のことばカード」「下のことばカード」を混ぜてシャッフルし、全て配りきります。
- ③手元にあるカードの中で慣用句が完成しても、まだ出せません。
- ④順番を決め、隣の人のカードを1枚取ります。
- ⑤手元にあるカードの中で慣用句が完成すれば、それを場に出します。誤っている場合、次のターンで組合せができて出しても出すことはできません。

※正しいかどうかが不安に繋がる場合、慣用句一覧を手元に置いて参照できるようにすることをおすすめします。

1	あいづちを	打つ	ひと はなし ちょうし あ 人の話に調子を合わせてうなづくこと
2	青菜に	塩	きゅう げんき ようす 急に元気がなくなる様子
3	赤の	他人	なん かんけい たにん 何の関係もない他人
4	あげ足を	とる	ちよつとした言ひ間違ひを責めること
5	あごを	出す	すっかりつかれること
6	足が	地につかない	こころ こうどう お っ ようす 心や行動が落ち着かない様子
7	足が	出る	よきん 予算をこえること
8	足が	棒になる	つかれること
9	足を	運ぶ	で 出かけていくこと
10	足を	引っぱる	たにん せいこう ぜんしん 他人の成功や前進のじゃまをする
11	頭が	上がらない	したが 従うしかない
12	頭を	下げる	おじぎする
13	あとの	祭り	て 手おくれである様子
14	油を	売る	おだ話などをしてなまけること
15	息を	のお	はっとおどろくこと
16	板に	つく	しごと な にあ 仕事などに慣れ、それが似合ってくる
17	一目	置く	けい 敬意をはらう
18	馬が	合う	たが きもち あ お互いに気持ちが合う
19	うり	二つ	かお ひじょう に 顔つきが非常に似ている
20	お茶を	にごす	いい加減に言って、その場をごまかす
21	折り紙を	つける	ほしょう 保証する
22	顔が	売れる	ひろ よ し 広く世に知られる
23	顔が	広い	おお ひと し 多くの人に知られている
24	顔から	火が出る	ひじょう 非常にはずかしい
25	顔に	どろをぬる	はじ 恥をかかせること
26	かたずを	のお	きんちよう みまも 緊張しながら見守る
27	肩の	荷がおりる	せきにん きむ は 責任や義務を果たして、ほっとする
28	肩を	すくめる	ふしんかん ふまん いがい きもち たいど あらわ 不信感・不満や意外である気持ちを態度に表す
29	肩身が	せまい	どうどう 堂々とできない
30	肩を	持つ	ある人の味方をする
31	かぶとを	ぬぐ	こうさん 降参する
32	気が	置けない	うちとけて、気楽につきあえる
33	肝が	すわる	どきょう 度胸がある
34	肝に	めいじる	ぜったい わす 絶対に忘れないようにする
35	くぎを	さす	ねん お 念を押す

36	口が	固い	ひみつ かるがる はな 秘密を軽々しく話さない
37	口が	軽い	すぐにしゃべってしまう
38	口火を	切る	さいしょ はじ つく 最初に始めて、きっかけを作る
39	口を	そろえる	どうじ おな い 同時に同じことを言う
40	首を	長くする	あることを期待して待つ
41	けがの	功名	あやまりが逆 ^{さか} に良い結果 ^{けっか} を生む
42	腰が	低い	へりくだった態度 ^{たいど} をとる
43	さじを	投げる	あきらめる
44	舌を	巻く	すばらしさに感心 ^{かんしん} する
45	しのぎを	けずる	おたがいにはげしく争 ^{あらそ} う
46	しびれを	切らす	待ちくたびれる
47	白羽の	矢が立つ	おお なか えら だ 多くの中から選 ^{えら} び出される
48	白い	目で見	つめ め み 冷たい目で見
49	すずめの	なみだ	あるかないかの少 ^{すく} ない量 ^{りょう}
50	囃に	乗る	ちょうし 調子にのってつけあがる
51	すねを	かじる	おや せわ 親などの世話になる
52	背に	腹はかえられない	しょうしょう 少々 ^{しょうしょう} のことはかまっていられない
53	高を	くくる	み 見くびる
54	手が	つけられない	どうすることもできない
55	手が	出ない	じぶん のうりよく なに 自分の能力 ^{のうりよく} をこえていて何 ^{なに} もできない
56	手に	あせをにぎる	きんちよう な ゆ むまも 緊張しながら成 ^な り行きを見守 ^{むまも} る
57	手に	あまる	じぶん たいおう 自分ひとりでは対 ^{たい} 応 ^{おう} できない
58	手に	負えない	ひとり しょり 一人では処 ^{しょり} 理 ^り できない
59	手を	こまねく	なに 何 ^{なに} もしないでただ見 ^み ている
60	とうげを	こす	いきお とき 勢 ^{いきお} いがさかんな時 ^{とき} をすぎる
61	なみだを	飲む	くやしさをこらえる
62	二の足を	ふむ	あることを実行 ^{じっこう} するのをためらう
63	ぬれ手で	あわ	くろう りえき え 苦 ^く 勞 ^{ろう} せずに利 ^{りえき} 益 ^え を得る
64	ねこを	かぶる	ほんしょう 本性 ^{ほんしょう} をかくして、おとなしくする
65	寝耳に	水	おも 思 ^{おも} いがけないことにおどろくこと
66	根も葉も	ない	なん こんきょ りゆう 何 ^{なん} の根 ^{こんきょ} 拠 ^{きょ} も理 ^{りゆう} 由 ^{ゆう} もない
67	のどから	手が出る	ほ 欲 ^ほ しくてたまらない
68	歯が	立たない	あいて つよ 相手 ^{あいて} が強 ^{つよ} すぎて、とてもかなわない
69	鼻が	高い	とくい 得意 ^{とくい} になる
70	鼻で	あしらう	つめ 冷 ^{つめ} たくいい加 ^{かげん} 減 ^{げん} にあつかう

71	鼻を	明かす	あいて 相手を出しぬいて、あつと言わせる
72	歯に	衣を着せぬ	おも 思ったままを率直に言う
73	羽を	のばす	のびのびとふるまう
74	腹に	すえかねる	はら た 腹が立って許せない
75	腹を	割る	ほんとう きもち 本当の気持ちをうちあける
76	額を	集める	あつ 集まって相談する
77	非の	打ち所がない	けってん 欠点がまったくない
78	袋の	ねずみ	に 逃げ場がない
79	へそを	曲げる	きげん 機嫌をそこねる
80	骨を	折る	くろう 苦勞をかえりみず、ちから 力をつくす
81	右に	出る者がいない	そのひとよりすぐれたひとがい
82	水に	流す	すんだことは忘れる
83	水を	さす	じゃまになることを言ったりする
84	身に	あまる	じぶん 自分にはもったいない
85	耳が	痛い	き 聞くのがつらい
86	耳に	たこができる	うんざりする
87	虫が	知らせる	なに お 何かが起こりそうな予感がする
88	虫の	息	いま き 今にも消えそうなさま
89	胸を	借りる	した もの うえ もの あいて 下の者が上の者に相手をしてもらう
90	目が	高い	もの ねう 物の値打ちなどを見ぬくちから 力がある
91	目が	ない	ひじょう す 非常に好きである
92	目から	鼻へぬける	りこう りかい はや 利口で理解が早い
93	目と	鼻の先	ひじょう ちか 非常に近いこと
94	目の	色を変える	ひっし 必死になる
95	目も	くれない	まったくかんしん しめ 関心を示さない
96	目に	かける	よくめんどうをみる
97	目を	つぶる	み 見なかったことにする
98	やぶから	棒	とつぜん 突然であるさま
99	らちが	あかない	ものごと かたづ 物事が片付かない
100	わらにも	すぎる	どんなものにもでもたす 助けを求め

<p>あいづちを</p>	<p>青菜に</p>	<p>赤の</p>	<p>あげ足を</p>
<p>打つ</p>	<p>塩</p>	<p>他人</p>	<p>とる</p>
<p>（あいづちを 打つ） 人の話に調子を合わせてう なずくこと</p>	<p>（青菜に 塩） 急に元気がなくなる様子</p>	<p>（赤の 他人） 何の関係もない他人</p>	<p>（あげ足を とる） ちよつとした言い間違いを 責めること</p>

<p>あごを</p>	<p>足が</p>	<p>足が</p>	<p>足が</p>
<p>出す</p>	<p>地につかない</p>	<p>出る</p>	<p>棒になる</p>
<p>すっきりつかれること (あごを 出す)</p>	<p>子^{うす}心^{こころ}や行^{こうどう}動^{どう}が落^おち着^つか^かない様^{よう} (足^{あし}が 地^ちにつか^かない)</p>	<p>予^よ算^{さん}をこ^こえ^えるこ^こと (足^{あし}が 出^でる)</p>	<p>つ^つか^かれ^れるこ^こと (足^{あし}が 棒^{ぼう}にな^なる)</p>

<p>足を</p>	<p>足を</p>	<p>頭が</p>	<p>頭を</p>
<p>運ぶ</p>	<p>引っぱる</p>	<p>上がらない</p>	<p>下げる</p>
<p>出^でかけていくこと （足を^{あし}運^{はこ}ぶ）</p>	<p>他人^{たにん}の成功^{せいこう}や前進^{ぜんしん}のじやま をする （足を^{あし}引^ひっぱる）</p>	<p>従^{したが}うしかない （頭^{あたま}が^あ上がらない）</p>	<p>おじぎする （頭^{あたま}を^さ下げる）</p>

<p>あとの の</p>	<p>油 を</p>	<p>息 を</p>	<p>板 に</p>
<p>祭 り</p>	<p>売 る</p>	<p>の む</p>	<p>つ く</p>
<p>手^ておくれである様子^{ようす} (あとの祭り^{まつ})</p>	<p>おだ話^{はなし}などをしてなまける こと (油^{あぶら}を売^うる)</p>	<p>はっとおどろくこと (息^{いき}をのむ)</p>	<p>仕事^{しごと}などに慣^なれ、それが似^に 合^あってくる (板^{いた}につく)</p>

<p>一 目</p>	<p>馬 が</p>	<p>う り</p>	<p>お 茶 を</p>
<p>置 く</p>	<p>合 う</p>	<p>二 つ</p>	<p>に ご す</p>
<p>敬意<small>けい</small>をは<small>い</small>ら<small>う</small> （一目<small>いちもく</small>置<small>お</small>く）</p>	<p>お互<small>たが</small>いに<small>あ</small>気持<small>きも</small>ちが<small>あ</small>合<small>あ</small>う （馬<small>うま</small>が 合<small>あ</small>う）</p>	<p>顔<small>かお</small>つきが<small>ひじょう</small>非常<small>ひじょう</small>に<small>に</small>似<small>に</small>て<small>い</small>る （うり 二<small>ふた</small>つ）</p>	<p>いい加減<small>かげん</small>に<small>い</small>言<small>い</small>っ<small>て</small>、その場<small>ば</small> を<small>ご</small>ま<small>か</small>す （お茶<small>ちや</small>を に<small>ご</small>す）</p>

<p>折り紙を</p>	<p>顔が</p>	<p>顔が</p>	<p>顔から</p>
<p>つける</p>	<p>売れる</p>	<p>広い</p>	<p>火が出る</p>
<p>保証<small>ほしょう</small>する （折り紙<small>おみ</small>を つける）</p>	<p>広く世<small>よ</small>に知られる （顔<small>かお</small>が 売<small>う</small>れる）</p>	<p>多くの人<small>ひと</small>に知られている （顔<small>かお</small>が 広<small>ひろ</small>い）</p>	<p>非常<small>ひじょう</small>にはずかしい （顔<small>かお</small>から 火<small>ひ</small>が<small>で</small>出る）</p>

<p>顔に</p>	<p>かたずを</p>	<p>肩の</p>	<p>肩身が</p>
<p>どろをぬる</p>	<p>のむ</p>	<p>荷がおりる</p>	<p>せまい</p>
<p>恥<small>はじ</small>をかかせること <small>かお</small>顔にどろをぬる</p>	<p>緊張<small>きんちよう</small>しながら見守<small>みまも</small>る (かたずをのむ)</p>	<p>責任<small>せきにん</small>や義務<small>ぎむ</small>を果た<small>は</small>して、 ほつとする (肩<small>かた</small>の荷<small>に</small>がおりる)</p>	<p>堂々<small>どうどう</small>とできない (肩身<small>かたみ</small>がせまい)</p>

<p>肩を</p>	<p>肩を</p>	<p>かぶとを</p>	<p>気が</p>
<p>すくめる</p>	<p>持つ</p>	<p>ぬぐ</p>	<p>置けない</p>
<p>不信感・不満や意外である <small>ふしんかん</small> <small>ふまん</small> <small>いがい</small> 気持ちを態度に表す <small>きもち</small> <small>たいど</small> <small>あらわ</small> (肩をすくめる)</p>	<p>ある人の味方をする <small>ある</small> <small>ひと</small> <small>みかた</small> (肩を持つ)</p>	<p>降参する <small>こうさん</small> (かぶとをぬぐ)</p>	<p>うちとけて、気楽につきあ <small>うちとけて</small> <small>きらく</small> える (気が置けない)</p>

<p>肝が</p>	<p>肝に</p>	<p>くぎを</p>	<p>口が</p>
<p>すわる</p>	<p>めいじる</p>	<p>さす</p>	<p>固い</p>
<p>度胸<small>どきょう</small>がある （肝<small>きも</small>が すわる）</p>	<p>絶対<small>ぜったい</small>に忘<small>わす</small>れないようにする （肝<small>きも</small>に めいじる）</p>	<p>念<small>ねん</small>を押<small>お</small>す （くぎを さす）</p>	<p>秘密<small>ひみつ</small>を軽<small>かる</small>々<small>がる</small>しく話<small>はな</small>さない （口<small>くち</small>が固<small>かた</small>い）</p>

<p>口が</p>	<p>口火を</p>	<p>口を</p>	<p>首を</p>
<p>軽い</p>	<p>切る</p>	<p>そろえる</p>	<p>長くする</p>
<p>すぐにしやべってしま う (口が軽い)</p>	<p>最初に始めて、きっかけを 作る (口火を切る)</p>	<p>同時に同じことを言う (口をそろえる)</p>	<p>あることを期待して待つ (首を長くする)</p>

<p>けがの</p>	<p>腰が</p>	<p>さじを</p>	<p>舌を</p>
<p>功名</p>	<p>低い</p>	<p>投げる</p>	<p>巻く</p>
<p>あやまりが逆<small>ぎやく</small>に良い結果<small>けっか</small>を生<small>う</small>む <small>(けがの 功名<small>こうみやう</small>)</small></p>	<p>へりくだった態度<small>たいど</small>をとる <small>(腰<small>こし</small>が 低い<small>ひく</small>)</small></p>	<p>あきらめる <small>(さじを 投<small>な</small>げる)</small></p>	<p>すばらしさに感心<small>かんしん</small>する <small>(舌<small>した</small>を 巻<small>ま</small>く)</small></p>

<p>しのぎを</p>	<p>しびれを</p>	<p>白羽の</p>	<p>白い</p>
<p>けずる</p>	<p>切らす</p>	<p>矢が立つ</p>	<p>目で見る</p>
<p>おたがいにはげしく争う （しのぎを けずる） <small>あらし</small></p>	<p>待ちくたびれる （しびれを 切らす） <small>ま</small></p>	<p>多くの中から選び出される （白羽の 矢が立つ） <small>おお しろは なか えら だ</small></p>	<p>冷たい目で見る （白い 目で見る） <small>つめ しろ め</small></p>

<p>すずめの の</p>	<p>図 に</p>	<p>すね を</p>	<p>背 に</p>
<p>なみだ</p>	<p>乗 る</p>	<p>かじ る</p>	<p>腹は かえ られ ない</p>
<p>あるかないかの少ない量 (すずめの なみだ)</p>	<p>調子<small>ちようし</small>にのってつけあがる (図<small>ず</small>に 乗<small>の</small>る)</p>	<p>親<small>おや</small>などの世話<small>せわ</small>になる (すねを かじる)</p>	<p>少々<small>しょうしょう</small>のことはかまってい られない (背<small>せ</small>に 腹<small>はら</small>はかえられな い)</p>

<p>高 を</p>	<p>手 が</p>	<p>手 が</p>	<p>手 に</p>
<p>く く る</p>	<p>つ け ら れ な い</p>	<p>出 な い</p>	<p>あ せ を に ぎ る</p>
<p>見^みく^くび^る （高^{たか}を くくる）</p>	<p>どうすることもできない （手^てが つけられない）</p>	<p>自^じ分^{ぶん}の能^の力^{りょく}をこえていて何^{なに} もできない （手^てが 出^でない）</p>	<p>緊^{きん}張^{ちやう}しながら成^なり行^ゆきを見^み 守^{まも}る （手^てに あせをにぎる）</p>

<p>手に</p>	<p>手に</p>	<p>手を</p>	<p>とうげを</p>
<p>あまる</p>	<p>負えない</p>	<p>こまねく</p>	<p>こす</p>
<p>い 自分ひとりでは対応できない (手に あまる)</p>	<p>ひとり 一人では処理できない (手に 負えない)</p>	<p>なに 何もしないでただ見ている (手を こまねく)</p>	<p>いきお 勢いがさかんな時をすぎる (とうげを こす)</p>

<p>なみだを</p>	<p>二の足を</p>	<p>ぬれ手で</p>	<p>ねこを</p>
<p>飲む</p>	<p>ふむ</p>	<p>あわ</p>	<p>かぶる</p>
<p>くやしさをこらえる (なみだを 飲む)</p>	<p>あることを実行するのをた めらう (二の足を ふむ)</p>	<p>苦労せずに利益を得る (ぬれ手で あわ)</p>	<p>本性をかくして、おとなし くする (ねこを かぶる)</p>

<p>寝耳に</p>	<p>根も葉も</p>	<p>のどから</p>	<p>歯が</p>
<p>水</p>	<p>ない</p>	<p>手が出る</p>	<p>立たない</p>
<p>（寝耳に 水） <small>ねみみ</small> <small>みず</small> 思いがけないことにおどろくこと</p>	<p>（根も葉も ない） <small>ね</small><small>は</small> <small>なん</small><small>こんぎよ</small> <small>りゆう</small> 何の根拠も理由もない</p>	<p>（のどから 手が出る） <small>ほ</small> <small>て</small><small>で</small> 欲しくてたまらない</p>	<p>（歯が 立たない） <small>は</small><small>た</small> 相手が強すぎて、とてもかなわない</p>

<p>鼻が</p>	<p>鼻で</p>	<p>鼻を</p>	<p>歯に</p>
<p>高い</p>	<p>あしらう</p>	<p>明かす</p>	<p>衣を着せぬ</p>
<p>得意<small>とくい</small>になる （鼻<small>はな</small>が 高<small>たか</small>い）</p>	<p>冷<small>つめ</small>たくい加減<small>かげん</small>にあつかう （鼻<small>はな</small>で あしらう）</p>	<p>相手<small>あいて</small>を出<small>だ</small>しぬいて、あっと 言<small>い</small>わせる （鼻<small>はな</small>を 明<small>あ</small>かす）</p>	<p>思<small>おも</small>つたままを率直<small>そつちよく</small>に言<small>い</small>う （歯<small>は</small>に 衣<small>きぬ</small>を着<small>き</small>せぬ）</p>

<p>羽 を</p>	<p>腹 に</p>	<p>腹 を</p>	<p>額 を</p>
<p>の ば す</p>	<p>す え か ね る</p>	<p>割 る</p>	<p>集 め る</p>
<p>のびのびとふるまう （羽<small>はね</small>をのばす）</p>	<p>腹<small>はら</small>が立<small>た</small>って許<small>ゆる</small>せない （腹<small>はら</small>にすえかねる）</p>	<p>本<small>ほん</small>当<small>とう</small>の気<small>き</small>持<small>も</small>ちをうちあける （腹<small>はら</small>を割<small>わ</small>る）</p>	<p>集<small>あつ</small>ま<small>つ</small>つて相<small>そう</small>談<small>だん</small>する （額<small>ひたい</small>を集<small>あつ</small>める）</p>

<p>非 の</p>	<p>袋 の</p>	<p>へそ を</p>	<p>骨 を</p>
<p>打ち所がない</p>	<p>ねずみ</p>	<p>曲げる</p>	<p>折る</p>
<p>欠^け点^{てん}がま^まつた^たく^くない (非^ひの 打^うち所^{どころ}がない)</p>	<p>逃^にげ場^ばがない (袋^{ふくろ}の ねずみ)</p>	<p>機^き嫌^{げん}をそこねる (へそを 曲^まげる)</p>	<p>苦^く勞^{ろう}をかえりみず、力^{ちから}をつ くす (骨^{ほね}を 折^おる)</p>

<p>右 に</p>	<p>水 に</p>	<p>水 を</p>	<p>身 に</p>
<p>い出る者がいな</p>	<p>流す</p>	<p>さす</p>	<p>あまる</p>
<p>い その人<small>ひと</small>より優<small>すぐ</small>れた人<small>ひと</small>がいな （右<small>みぎ</small>に 出<small>で</small>る者<small>もの</small>がいない）</p>	<p>すんだことは忘<small>わす</small>れる （水<small>みず</small>に 流<small>なが</small>す）</p>	<p>じゃまになることを言<small>い</small>った りする （水<small>みず</small>を さす）</p>	<p>自分<small>じぶん</small>にはもつたいない （身<small>み</small>に あまる）</p>

<p>耳が</p>	<p>耳に</p>	<p>虫が</p>	<p>虫の</p>
<p>痛い</p>	<p>たこができる</p>	<p>知らせる</p>	<p>息</p>
<p>聞<small>き</small>くのがつらい （耳<small>みみ</small>が痛い）</p>	<p>うんざりする （耳<small>みみ</small>にたこができる）</p>	<p>何<small>なに</small>かが起<small>お</small>こりそうな予感<small>よかん</small>が する （虫<small>むし</small>が知らせる）</p>	<p>今<small>いま</small>にも消<small>き</small>えそうなぎま （虫<small>むし</small>の息<small>いき</small>）</p>

<p>胸 を</p>	<p>目 が</p>	<p>目 が</p>	<p>目 か ら</p>
<p>借 り る</p>	<p>高 い</p>	<p>な い</p>	<p>鼻 へ ぬ け る</p>
<p>（胸^{むね}を借^かりる） 下^{した}の者^{もの}が上^{うえ}の者^{もの}に相^あ手^てをし てもら^うう</p>	<p>（目^めが高^{たか}い） 物^{もの}の値^ね打^{うち}ちなどを見^みぬく力^{ちから} がある</p>	<p>（目^めがな^{ない}い） 非^ひ常^{じょう}に好^すきである</p>	<p>（目^めか^ら鼻^{はな}へぬける） 利^り口^{こう}で理^り解^{かい}が早^{はや}い</p>

<p>目と</p>	<p>目の</p>	<p>目も</p>	<p>目に</p>
<p>鼻の先</p>	<p>色を変える</p>	<p>くれない</p>	<p>かける</p>
<p>（目と 非常に近いこと 鼻の先）</p>	<p>（目の 必死になる 色を変える）</p>	<p>（目も まったく関心を示さない くれない）</p>	<p>（目に よくめんどうをみる かける）</p>

<p>目を</p>	<p>やぶから</p>	<p>らちが</p>	<p>わらにも</p>
<p>つぶる</p>	<p>棒</p>	<p>あかない</p>	<p>すぎる</p>
<p>見<small>み</small>なかつたことにする （目<small>め</small>をつぶる）</p>	<p>突然<small>とつぜん</small>であるさま （やぶから棒<small>ぼう</small>）</p>	<p>物事<small>ものごと</small>が片付<small>かたづ</small>かない （らちが あかない）</p>	<p>どんなものにも助け<small>たす</small>を求<small>もと</small>める （わらにも すぎる）</p>